

よう YOU 来た通信

5・6月

第3号

土佐清水市天神町 11 番 2 号

TEL:0880-82-1181

FAX:0880-82-2882

編集：発行 土佐清水市企画財政課 移住相談員

晴れ渡った空に新緑の青葉。すがすがしさをを感じる季節となりました。

暖かくなると各地でイベントも増え、外出する機会も多くなり、新しい発見や出会いなど、夢中になるものがいっぱいですね♪

イベント情報

◆下川口家直販市

日時：5月4日（木） 10：00～15：00

場所：下川口漁港

内容：下川口住民によるお惣菜・野菜・雑貨などの販売、
下川口ジオツアー等



◆ジョン万海の元気まつり

日時：5月4日（木）～5月6日（土） 9：00～15：00

場所：あしずり港

内容：鯛釣り、岸壁さかな釣り、シーカヤック（各1,000円/人）等



◆TATSUKUSHI トロピカル

日時：5月28日（日） 11：00～22：00

場所：レスト竜串裏緑地

内容：飲食店出店、多数のアーティストによるLIVE等



第3回・移住者交流会

前号でも紹介させてもらった「ゴミ拾い&ピクニック」が4月2日（日）に大岐地区の双浜で開催されました。

宗呂に移住された松本さんの提案から始まった今回のイベントには、移住者の他にも近藤区長（大岐地区）をはじめ地域の方々も来ていただき、20名の方々が参加されました。

1時間余りで集まったゴミは30袋にもなり、みなさんのご協力で美しい浜になりました。本当にありがとうございました。ゴミ拾いの後は、石を組んだコンロで流木を燃やして、取れたて貝の味噌汁を作りました。

まだ潮が引きっていない時間だったので二ナ貝がメインの味噌汁になりましたが、労働の後の一杯は格別でした。

近藤区長から「今回のイベントがきっかけで改めて双浜という場所を考える機会となった。ずっと暮らしていると気づかないことを、よそから来た人に気づかせてもらえ、今日は本当に良い勉強になった。」とのお話がありました。

またこのようなイベントを開催していきたいと思いますので、みなさん是非ご参加下さい。



YOU（移住者）の紹介 and more

岡本 収さん 平成28年8月【Uターン】

岡本さんは土佐清水市出身で中学生まではこちらで暮らされていたそうです。

長年、関東で暮らしている間にも土佐清水へは定期的に戻って趣味の釣りを楽しまれていたそうで、今でも幼馴染の友人達との交流が続いているそうです。



岡本さんが念願の船を入手したとの噂を聞きつけ、「移住者インタビュー」を口実に船釣りに連れて行ってもらいました。

この日は3月下旬の天気の良い日でしたが風が強く、あしずり港を出たあたりでは結構うねりがあったので、大きく上下に揺れる船はまるでアトラクションの様でした。

少し進むとうねりも穏やかになり、のんびりとクルージング気分を味わっているうちにポイントに到着しました。

針と小さなオモリだけのシンプルな仕掛けを海流に乗せてフワ〜と流していく「いけいけ」という釣り方は、高知の特に西部で昔から行われていて、他の地域には無い独特な釣り方だそうです。

岡本さんは、この「いけいけ」で簡単そうに釣られていましたが、これがなかなか難しい釣り方で仕掛けがどの辺りを彷徨っているのか見当が付かず、あたりも取れずに餌だけ取られるということを繰り返して、私は1匹も釣り上げることが出来ませんでした。



もう一つ用意してもらった「サビキ釣り」の仕掛けでサンノジが釣れて、なんとかボウズを免れることができました。

この日釣れた魚は、カワハギ、ウスバハギ、オジサン、ヒダリマキ、サンノジ達で、土佐清水の海は魚種が豊富で豊かな海だなあと感動しました。



岡本さん、インタビューはそこそこに、しっかりと楽しませてもらいまして本当にありがとうございました。

鈴木 誠さん 平成 29 年 4 月【Iターン】

鈴木さんは、4月より地域おこし協力隊の集落活動センター担当として、奈良県より土佐清水市に移住して来られました。

土佐清水市に移住しようと思ったきっかけは、鈴木さんは、長野で育った後、奈良で生活してこられ、ずっと海の見えるところで、暮らしてみたいと思っていたそうです。



果てしない海と、山に囲まれた豊かな土地として、四国最南端の土佐清水市は本当に理想通りの場所であり、地域おこし協力隊という地域に密着していける仕事の募集もあったことから移住を決めたとお話してくれました。

そんな鈴木さんに、土佐清水市でやりたいことをお聞きすると、まず、「それぞれの地域を訪れて各集落ならではの話を聞いて、周り、できれば唄と踊りを教えていただきたい」そして、「生まれてから全く釣りをしたことがないので、自分で釣った魚をさばいてみたい」また、「海岸や海だけでなく、お寺や神社、名所旧跡を巡りたい」と、土佐清水の自然、文化、歴史など、この土地でしか見られないこと、体験できないことにチャレンジしたいそうです。



最後に、地域おこし協力隊としての活動についてお聞きすると「地域の伝統や、今、住んでいる方々のお話をよくお聞きしながら、これから地域づくりとしての拠点である集落活動センターの推進というミッションに取り組み、土佐清水市がより良い地域になるためのお手伝いをさせていただきたいと思っています」とお話ししていただき、今後の鈴木隊員の活動に目が離せませんね！